

**令和 7 年度 オホーツク地域づくり連携会議 意見交換テーマ****【テーマ①】**

『様々な業種における担い手の育成・確保』

**【背景】**

- オホーツク地域においては、全道でも有数の生産額を誇る一次産業（農林水産業）をはじめ、医療・福祉分野における保健師や建設分野における技術職など、様々な業種で労働力不足が課題となっており、その原因として、少子高齢化や若年層の都市部への流出、多様な働き方の浸透の影響が考えられる。
- 例えば、管内における農家戸数は 40 年間で約 6 割減少し、農業従事者の高齢化が進んでいるほか、林業従事者数においては昭和 61 年と令和 3 年を比較して半数以下、60 歳以上の割合は 2 倍以上となっていることから、若年就業者の地域への定着や雇用形態の柔軟化、また、外国人材の確保などによる対策が喫緊の課題となっている。
- 全国規模の課題でもある担い手の育成・確保については、連携地域別政策展開方針においても、主な施策として位置づけており、各主体の取組強化に努めているところ。

**【テーマ②】**

『外国人材の受入拡大を見据えた多文化共生の推進』

**【背景】**

- オホーツク地域において、技能実習生などの外国人材の受入れは、近年増加傾向にあるほか、業種や国籍についても多様化しており、今後も同様の傾向が予想される。
- 一方で、日本での生活において、言語や文化・習慣の違いから生じる悩みや不安の解消、地域住民との交流などが課題となっている。
- 外国人材の受入環境の整備や定着に向けた取組、また、関係機関との連携による多文化共生社会の形成に向けた取組が必要となっている。

**【本日の目的】**

- 『様々な業種における担い手の育成・確保』と『外国人材の受入拡大を見据えた多文化共生の推進』に関して、オホーツク地域における各主体の現状と課題、具体的な施策・連携策等について、各市町村や団体から発言をいただく。